

こんな症状のときは登園を

体調が悪いときの無理な登園は、子どもにとって大きな負担です。無理をすることで病気が重症化してしまったり、治りかけていた病気がかえって長引いてしまうことも。また、病気を友だちにうつしてしまう可能性もあるので、このくらいなら大丈夫かな？ではなく、登園を控えるべき症状をしっかりとっておくことが大切です。

*登園を控える症状

下記の症状のいずれかが当てはまる場合は、登園を控えるようにしましょう。

全身症状



- 機嫌が悪く元気がない
- 顔色が悪い
- ぐったりしている



発熱・下痢・おう吐
せき・発しん
いずれかの症状がある場合

発熱



- 朝から37.5℃を超える熱があり、食欲・元気もない
- 24時間以内に解熱剤を使用した
- 24時間以内に38℃以上の熱が出た
- 平熱より1℃以上高い（1歳以下の乳児）

※体温は目安です。子どもの平熱に応じて判断するようにしましょう。

下痢



- 24時間以内に2回以上の水様便がある
- 食事や水分をとると下痢をする
- 下痢に伴い、体温がいつもより高め
- 下痢症状があり、朝おしっこが出ない

控えましょう

おう吐



- 24時間以内に2回以上のおう吐がある
- おう吐に伴い、いつもより体温が高め
- 食欲がなく、水分もとりにたがらない

せき



- 夜、せきをして目が覚めてしまう
- 呼吸をするとゼイゼイ、ヒューヒュー音がし、呼吸困難の症状がみられる
- 呼吸が速い
- せきに伴い37.5℃以上の熱がある
- 少し動いただけでせきが出る
- 食欲がなく、朝食や水分がとれない

発しん



- これまでなかった発しんにより、感染症が疑われ、医師から登園を控えるように言われた
- 発熱の伴う発しんがある
- 口内炎のため食事や水分がとれない
- *とびひの場合*
- 顔など患部を覆えない場所にとびひができたとき
- 浸出液が多く、他の子どもへの感染の恐れがあるとき
- かゆみが強く、手で患部をかいてしまうとき

「とびひ」とは

とびひは、すり傷や虫さされなどのひっかき傷に細菌が入り、水ぶくれができるもので、夏場に子どもたちがかかりやすいものです。かゆみがあり、かいて水ぶくれをつぶすと、別のところに「とびひ」してしまい、他の人にうつしやすいので注意が必要です。